

理事長就任のご挨拶



特定非営利活動法人子育てサポートセンターきらきらくらぶ
理事長 林 昇平

**笑ってる子ども、泣いている子ども、怒っている子ども、みんなみんなあつまれ！
そのまんまでいいんだよ……。ありのままのそんなみんなが大好きです！**

これはきらきらくらぶのパンフレットの表紙に書かれているものです。

17年前、私が保育士として働きだしたとき、その時勤務していた保育園は「子どもを預かる場所」であり、保育士は子どもをみる作業をしているように見えました。子どもを自分たちが見やすい存在に変えて、平穏に1日を過ごそうとしているように感じたのです。

私は中学生の頃からきらきらくらぶの手伝いをしていて、自然と「自分は将来保育士になるんだ」と考えていました。そして、そのモデルはいつでもきらきらくらぶの保育観であり、文頭に書いたこの言葉であったことを覚えています。

その後、きらきらくらぶに戻ってきて感じたことは、子ども達が心からのびのびと遊んでいる姿でした。それでいて、保育の内容は一般的な保育園では年中児がやるような内容を、2, 3歳児の子ども達が嬉々として取り組んでいる。他の保育園を見たからこそ、私はその保育は素晴らしいものだと確信し、「自分がやりたい保育ができる場所はここである」と確信しました。

その後、小規模保育園2園を設立し、きらきらくらぶでも保育園を運営することとなりました。その中で、私が一番大切に思っていることであり、変わらず目標としていることがあります。それは「子ども達がありのままの姿で楽しめる場所である」ということです。

時代と共に子どもを取り巻く環境は大きく変わりました。きらきらくらぶ設立当初からは想像もできなかった子育て支援も、今現在では数多く実現しています。しかし、子ども達に望む姿はいつの時代も変わりません。保護者の皆様が安心して子どもを預けることができ、その子ども達がのびのびと健やかに育つ場所、そんな場所を提供し続けるのがきらきらくらぶの使命であると私は考えています。

また、子どもを取り巻く環境が大きく変わったということは、保護者はその変化に対応した子育てをしなくてはならないということでもあります。近年でいえばスマートフォンの登場やポータブルゲーム機の普及、動画配信サイトの隆盛は、子どもの遊ぶ環境に大きな変化をもたらしました。情報が溢れ、一年で常識が変わる激動の時代に、子育てをする保護者世代の苦労は並々ならぬものがあります。子育ての経験はとても大切です。しかし、過去の

常識にとらわれていては、現在の環境にあった子育てをすることは難しくなります。

きらきらくらぶは、温故知新を大切にし、多様な世代の価値観と最新の知識をもった保育を実施していきます。これからも、時代と共に変わる保護者の皆様のニーズをしっかりと受け止め、地域の子育てに安心を届けることに尽力することをお約束し、理事長就任のご挨拶とさせていただきます。

令和3年7月吉日